

① 第1学年

指導案 Nグループ

「笑」...「しらん  
けど」

II.  
責任のわり

# 1. SNSでのトラブル

## 2. SNS上での危険性について

- ・思っていること、伝えていることの違いに気づく。
- ・気づかないうちに、いじめに加わっていることに気づく。
- ・普段の学校生活を振り返るきっかけにしたい。

3. 1学期に人権学習でどんなことを学んでいくかを行い、2学期(今回)にSNSトラブルについて学習する。ズメ木を持っている生徒が増え、トラブルが起こることも考えられるため、具体的な事例を使って「トラブルが起こった原因を考える」を1時間目、それを受けて「どう行動していくか」を2時間目に行う。  
本時は1時間目の内容を行う。

4. (1) SNS上でのトラブルの原因を考える活動を通して、SNSならではの落ち回りや、危険性について、どのような行動が、いじめにつながるかを理解することからできる。

| 学習活動                        | 予想される子ども                                                                               |                   |
|-----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 導入: 事例のプリントを提示する。           |                                                                                        | LINE<br>インスタ<br>① |
|                             | <div>② SNSの落とし穴とは!?</div>                                                              |                   |
| ① 何が原因かをあげていく(リスト)<br>・個人→班 | ・絵文字がはらたつ!<br>・「C: 00, てほんは裏面目だね」というコメント<br>・本人がいなくて話す必要はない。<br>・そもそもグループラインで話すことではない。 |                   |
| ② 他の班との共有                   |                                                                                        |                   |
| SNS上だからこそのトラブルになる原因を考える。    | ・文面によって伝え方がちがう。<br>・誤解が生まれる。<br>・見ているだけでコメントしない(行動しない)                                 |                   |
| SNS上で気づけなかったことを、いじめた原因は何?   | ・相手によって伝え方がちがうということを理解する。                                                              |                   |

I: さっきの〇〇のLINE見た? 笑

J: 見た見た

K: 〇〇、てほんま真面目キウよな

L: わかる 笑

I: 先生に気に入られてそう

J: それはありそう

K: なんか先生に言われたこと  
全部ちゃんとやってそう 笑

L: 〇〇って怒られたことなさそう

J: いいよね～

I: うん、人生得てそう

K: でもそかうタイプ、一緒にあったら  
疲れそうじゃない?

L: わかる。こっちまでちゃんとせんといかん  
感じる 笑

J: それな

I: まあ〇〇は〇〇やし 笑

K: 本人おらんし、別にいいやろ

## &lt; クラスLINE &gt;

A: { <sup>今日も</sup> 〇〇、<sup>✓</sup>放課後残るん？ }

〇〇: { うん！ 委員会あるから！ }

B: { へー、えう 😊 }

C: { 〇〇、てほんま真面目よね }

D: { わかる笑 }

E: { そういうのちゃんとやるタイプなんやな〜 }

〇〇: { いやいや普通やって笑 }

F: { でも毎回ちゃんとや.てるやん }

G: { そういうところ 見習わんといかんわ 😊 }

H: { 〇〇は先生から信頼されてそう }

{ それはあッそう笑 } 自分

〇〇: { はんはん 😊 }